

児童発達支援ガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%
保護者様： 35名回答、回答率 83.33%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・1枠の子どもの定員に対して指導員が1人多く配置されているため、注視活動で指導員が前にいても子ども1人につき大人が1人つくことができる。
- ・各児童のマークを決めて、マークを頼りに自発的に移動ができたり、その日の予定を理解できるようにしている。

○業務改善

- ・定期的に研修を行っている。階層別の研修も行い、職員のスキルアップを図っている。

○適切な支援の提供

- ・テーマごとに細かく項目を設けたアセスメントシートを使用している。
- ・個別支援計画を常に参照できるように管理している。
- ・支援前に必ずミーティングを行っており、1人1人の支援内容や状況を常に全員で共有・把握し、支援計画と照らし合わせながら進めている。
- ・毎日、時間をかけてミーティングを行い、課題の難易度の設定を話し合い、調整している。
- ・気付いたことや疑問点があった際には、支援後すぐに相談し、さらにミーティングの際に全体に共有している。

○関係機関や保護者との連携

- ・関係機関等との連携について、依頼や希望のあった場合には必要に応じて実施している。
- ・毎回必ず保護者に支援内容のフィードバックを行い、その中で家庭でも取り組める内容を提案している。

○保護者への説明責任等

- ・運営規程、利用者負担等について、契約の際に時間をかけて説明している。
- ・毎回のフィードバックの際に、悩み相談のニーズがあった場合には、事業所内相談支援につないでいる。

○非常時等の対応

- ・緊急時のマニュアルについて、周知できていない部分があるため今後周知が必要。
- ・毎月、避難訓練を行っている。
- ・服薬等の状況は、基本情報シートにより把握している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・環境整備については、療育室内は構造化が図られ、児童にとって分かりやすい環境を整えているが、「待合スペースはもう少し広いとありがたい」とのご意見をいただいた。
- ・職員体制の整備については、専門職を含め基準を上回る職員数を配置しているが、「職員によって指導スキルの巧拙が見られる」とのご意見をいただいた。

○適切な支援の提供

- ・「児童発達支援計画に基づき、毎回少しずつ内容を変化させたり、プログラムが飽きないように工夫されている」とのご意見をいただいた一方、「保護者が目指すところへの具体的なアプローチの道筋が見えにくい」「もっと実際的なことを教えてほしい」とのご意見もいただいた。

○保護者への説明等

- ・「何かあればお手伝いさせて欲しいと日頃から気に掛けてくれていて助かる」とのご意見をいただいた一方、「ある程度のコミュニケーションのみで、十分な情報共有まではできていない」「担当職員により、フィードバック時に困りごとを相談できる時とできない時がある」とのご意見をいただいた。
- ・保護者に対する支援については、「自宅で行った方がよい取り組みについてもう少し知りたい」とのご意見をいただいた。

○非常時等の対応

- ・非常時のマニュアルについては法令に基づき各種整備しており、避難訓練については月1回実施しているが、「非常時のマニュアルはあるものと理解しているが、訓練までは把握していない」とのご意見をいただいた。

○満足度

- ・満足度については、「家を出る時は嫌がっているが、着くと嫌がらずに療育を受けている」「できることも増えた上に、自信を持って生活できているので本当に通って良かった」とのご意見をいただき、約9割の保護者から良い評価をいただいた一方、「発語面でのケアを希望する」「個別の部分だけでなく、小集団の部分もカメラで見られるようにしてほしい」とのご意見をいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・フィードバックの際、周囲を気にせず指導員と保護者のみの環境で話せる面談室(個室)を用意する。面談室でフィードバックを行うことが難しい場合があるため、偏りの出ないように調整をする。
- ・緊急時の対応マニュアルについての周知が十分でなかったため、わかりやすくまとめたものを用意し説明及び掲示することで確実に周知できるようにする。また、避難訓練実施の際の様子についても必ずお伝えするようにする。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・フィードバックの際のプライバシーの保護については、個室を順番に使うことで対応している。
- ・各種のマニュアルについての周知は着手できなかったため、引き続き取り組む。避難訓練を行った日には状況をお伝えする。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・環境整備については、「活動スペースの十分な確保」(94%)、「生活空間の構造化」(94%)、「清潔で心地よく過ごせる環境」(91%)に関して高い評価をいただいている。
- ・適切な支援の提供については、「児童発達支援計画に沿った支援が行われている」(97%)に関して高い評価をいただいている。
- ・保護者への説明等については、「運営規定・利用者負担についての丁寧な説明」(94%)、「個人情報取り扱いへの配慮」(94%)に関して高い評価をいただいている。
- ・満足度については、「子どもが通所を楽しみにしている」(94%)、「支援に満足している」(89%)と高い評価をいただいている。

○改善点

- ・個室で行われる支援だけでなく、小集団のエリアで行われる支援内容も見たいとのご指摘があった。
- ・その日の担当職員によって困りごとの相談ができたりできなかったりすること、また支援の一貫性についてもご指摘があった。
- ・緊急時の対応について、マニュアルの整備や避難訓練の実施状況について伝わっていないというご指摘があった。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・小集団の支援内容をお伝えするためのカメラの設置等、環境の整備を進める。
- ・職員のスキルの底上げを図る。

○1年間で取り組む具体策

- ・研修の積極的な受講、支援SV(スーパーバイザー)制度の活用、日々の業務前ミーティングの活性化により、職員のスキルアップと意思疎通を図り、一貫した支援が行える体勢を作る。
- ・保護者への説明等については、フィードバック時にその日の支援内容を話すだけでなく、チラシや掲示物により保護者向けアンケートの活用を周知したり、家族支援や関係機関連携のサービスを必要に応じて勧めたりすることで、困りごとを気軽に相談できる体制を作る。
- ・非常時等の対応については、掲示物を作成することで、各種のマニュアルや避難訓練の内容を保護者に分かりやすくお伝えする。

スマートキッズ